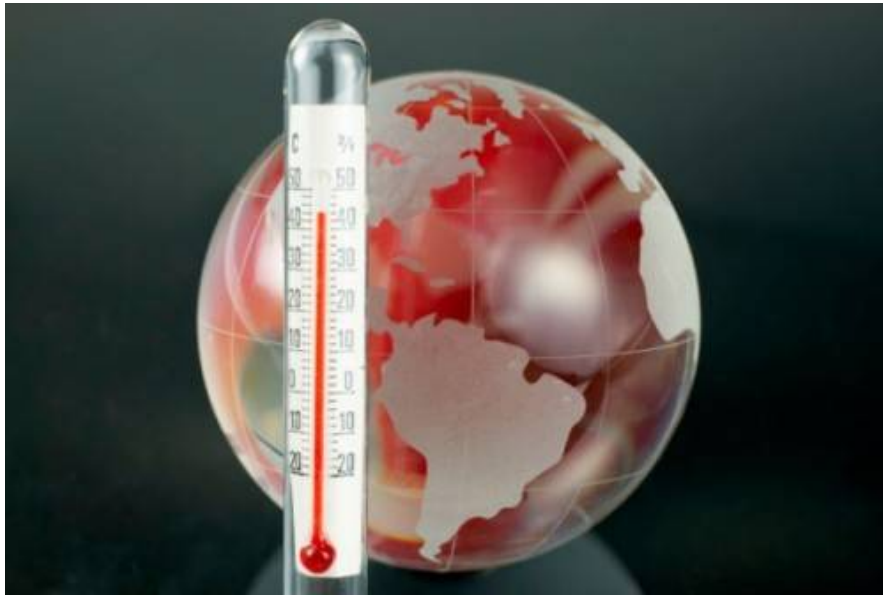


## ウィギントン気象操作週報 2014/ 1 /12

GeoengineeringWatch.org/ —Dane Wigington

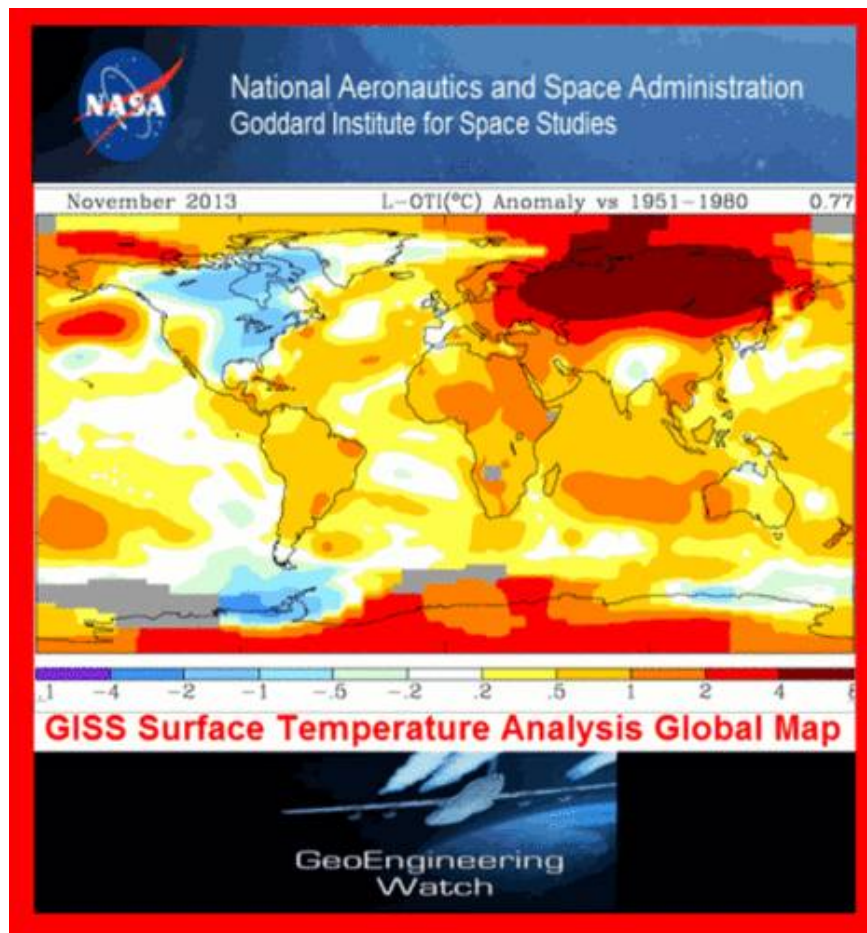
予想した通り、「極うず」(polar vortex)と名付けられて、完全に人工的なジェット気流に操作された冷却化が、今週初めに衰えかけると、極端な気温のリバウンドが米国東部の各地域にやってきた。ほんの2, 3日の間に、多くの地域で気温が急激に50度(華氏、約28°C)も跳ね上がった。



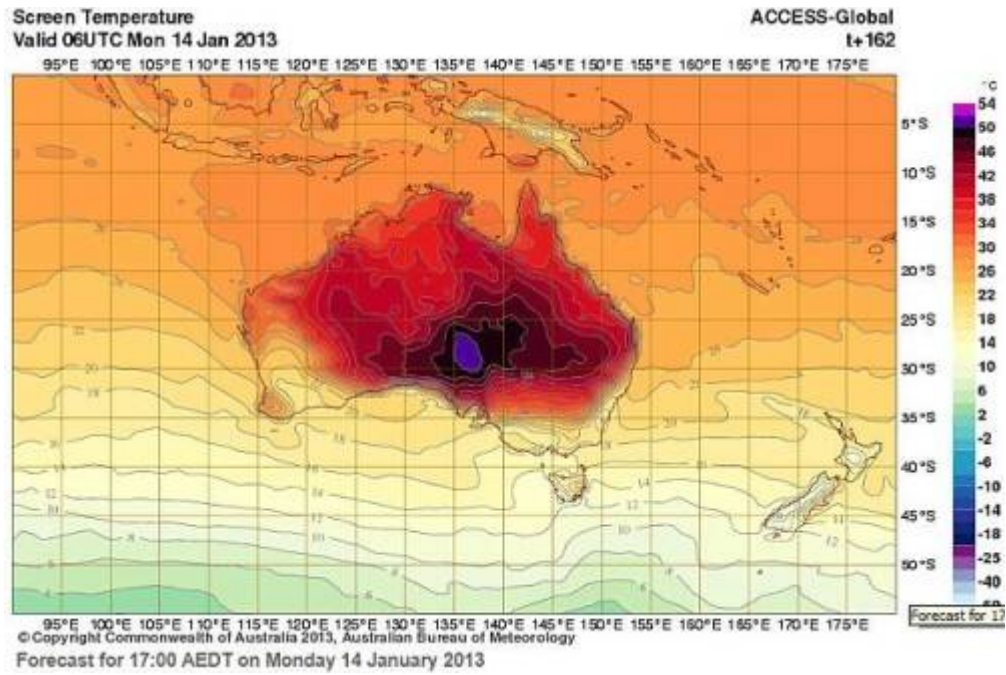
観測史上の最高気温がほんの2週間前に、記録を10度(5.6°C)も上回ったニューヨークでは、この最低気温記録に続く2日間は、再び通常を上回ってほとんど60度(15.6°C)の雨を伴う気温となった。この記録的冷却は、軍/気象操作/産業複合体によって一時的に加えられたものだった。

これらの短期の“冷却”について頭に入れておくべきことは、これら人工冷却による冷気の表層は非常に薄く、自然な、これまでにあった歴史的な「寒さ続き」とは全然違うということである。最近数日は、モンタナ州ビルングズでは、これも平均気温を遥かに50度(28°C)ほど上回って元に戻った。地球の気象システムのこの全面的破壊は、無数の場所にその影響を現わし続けている。

カリフォルニアは、完全に「散布によって追い払われた」雨の経験を再度味わわされている。私の住む北カリフォルニアのこの影響による全降水量は、(週間?月間?) 数百分の1インチしかなく、天気メーカーたちはこのところ、完全にわが州に雨を降らせることを拒否している。私のこの地方について見積もりをするなら、過去7年間に、250インチ、すなわち20フィート以上もの雨が不足している。意図的に引き起こされたカリフォルニアの旱魃とは対照的に、金曜日、フロリダ州パームビーチには、ほとんど24インチの土砂降りがあり、たった1日で2フィートの雨が降った。これは気象操作であり、文字通り“天気戦争”である。



下に示す最新記録は、オーストラリアで猛烈な暑さが続いていることを示している。その一部は120度(49°C)に達する高温のあたりを上下している。完全に制御不能の森林火災が、タスマニアも含めて全土に荒れ狂っている。南米でも、歴史上火事のなかった地域に火災が起こっている。



北極はどうだろうか？ 最近、北極圏全体に通常より 40 度（22℃）も高い気温異常が観測されている。気象操作の散布が増えるほど水不足は深刻になる。天気戦争が続く間、水争い地球全体でますます確実になっていく。

散布をずっと続ければ、地球全体の水の蒸発が劇的に減ることになり、したがって地球全

体の降水量が減る。散布された重金属の有毒な覆いが、地球全体に広がり続ける。よい知らせは、Direct TVが、そのプログラムから天気予報をはずそうとしていることである。ロスチャイルドから給料をもらっている嘘つきたちはクビになる。おそらく人々は、気象操作を隠そうとしている“お天気劇場”に飽きあきしている。



立ち上がって、はっきり物を言おう。あなたのこのチャンスはあまり長く続かないかもしれない。